

**担い手さる 農人と結ぶ**

## 新規就農の道

私が新規就農を目指したのは18歳の時です。

大阪の農業高校で農業に初めて出会い自身で作る楽しさ、収穫した時の喜びなどを肌で感じました。いつか農園を自身で運営し多くの人に農業の魅力を知って欲しいと感じ新規就農を目指しました。そこから農業をより深く学びたいと思い滋賀県湖南市にあるタキイ研究農場付属園芸専門学校に入校しました。

専門学校では農作物の栽培技術や栽培知識だけではなく農業の勉強をするために全国から集まつた仲間に出会いました。生徒のほとんどが農家さんの子供で様々な農園の形を知りました。

2年間の専門学校在学中に竜王町のイチゴ狩りがメインの観光農園にSNSを通じて出会いました。お客様が楽しんでもらうためにイチゴだけではなくその他の環境作りや接客などにこだわっている農園でした。当初、私は農業の栽培技術を実際に学んでいた事もあり農園のスタイルに驚き新鮮を感じました。

タキイ専門学校卒業後、(株)New Berryに入社し農作物の売り方魅せ方などを学びました。



木下 泰知

入社当初の目標が3年間働き大阪に戻り新規就農する事でしたが、会社の皆さんのが竜王町で新規就農を進めて下さった事もあり竜王町で就農することに決め、そこから色々な人の協力があり以前桃を栽培されていた農地で新規就農する事に決まりました。

作物は主にブドウで植えてから収穫するまで約3年かかる為、専門学校で学んだ野菜栽培とサツマイモ掘りなどの観光農園を行っていきます。

ブドウは竜王町で人気品種の竜宝を栽培し道の駅や直接販売などでより多くのお客様が満足いく商品を届けられるよう品質向上に努めています。サツマイモ掘りではこれまで学んだ経験を活かして子供から大人の方まで気軽に農業体験できる環境作りを実行します。

最後に新規就農としての第一歩を皆様の協力のもと実現することが出来ました。これからの挑戦には多くの困難が待ち受けているかもしれません、それでも実現することが出来ました。皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

**きらり ファーム**

## ジョイファーム山中 女性部発足

(農) ジョイファーム山中で竜王町の耕畜連携で稲WCS(ホイールクロップサイレージ)牛の発酵粗飼料)を生産しています。WCSは良質の飼料の提供を目指していましたが、圃場では夏場に茎太の雑草が繁茂し、機械や除草剤の対応だけは追いつかず、最終的に人手による除草作業を各家の女性にも救いを求めたのが女性出夫のきっかけでした。夏場の作業休憩中にアイスを頬張りながら、「畑仕事ならみんなでできるのでは?」との話になり、発起したのが1昨年前で、昨年皆さんに呼び掛けて12名の賛同を得て女性部が発足しました。村の収穫祭(文化祭)に焼き芋や新米おにぎりを提供したり、今年はサツマイモや南瓜の他に、特産品を目指して新たに自然薯栽培にチャレンジしています。




女性部長 山中 和美 副部長 山本 正美

**農業委員会だより**

竜王町農業委員会だより

編集・発行  
竜王町農業委員会  
TEL: 58-3712



# 地域計画

本町で初の地域計画が令和6年4月に策定されました。6月には町と農業委員会の共催により竜王町地域計画全体研修会を開催し、現在の町内外を含めた計画の策定状況やこれまでの策定等に係る制度運用等Q&Aの変更点等の説明を行った後、近隣集落ごとに分かれ、策定における課題等についての意見交換会を行いました。

7月末時点では合計6地域において計画が策定されており、令和6年度中に全地域において計画が策定できるよう、推進委員および農業委員は地域計画策定の推進役として関係機関と連携のうえ、各集落での話し合い等様々な活動に引き続き参画をしていきます。

地域計画検討協議会では担当地区の推進委員・農業委員が出席し、補足説明等を行いました。

総会では担当地区の委員が計画についての説明を行いました。




地域計画全体研修会の様子



竜王町における「地域計画」の取組状況については下記QRコードから御確認いただけます。



## 湖国女性農業・推進委員協議会

令和6年6月20日、第28回湖国女性農業・推進委員協議会総会・研修会が開催され、本町からは女性委員、会長、副会長が出席しました。

研修会では長野市農業委員会の地域計画の策定についての講演後、意見交換等を行いました。




